

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 092	提案機関名 畜産技術センター企画指導部普及指導課
要望問題名 TMR 給与方法	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 県内の酪農家でも、繋ぎ牛舎においてTMR(混合飼料)を給与する例が増えてきた。繋ぎ牛舎は、牛個体毎に飼料を給与できる利点はあるものの、不断給餌ではなく何回かに分けての給与となる。また、県内で利用されているTMRは乳期別の飼料内容ではなく、1種類のTMRをもちいて飼養管理(一群管理)しているのが現状である。 そこで、給与回数・量、乳期・乳量に対する飼料内容の適用範囲等、繋ぎ牛舎での効率的なTMR給与方法について検討していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	神奈川県畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地对応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 地域銘柄鶏の飼養管理技術の確立(H26～27)			
対応の内容等 TMRは粗飼料と濃厚飼料を均等に混合して不断給餌することから、分離給与に比べて乾物摂取量を高めるとともにルーメン発酵を安定化させる効果が期待されます。繋ぎ牛舎でTMRを利用する場合には、乳量、乳成分、飼料摂取量、ボディコンディションスコアや繁殖成績など牛個体の状況を確認しながら、適正量を給与する必要があります。また、給与回数、併用する飼料(サプリメントや粗飼料)、飼槽の構造など、個々の酪農家の飼養管理に合わせて給与方法を設定することも必要です。農家指導のために必要な現地調査等があれば協力してまいります。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			